



User Profile

倉敷市役所

<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/>

所在地：

岡山県倉敷市西中新田640

概要：

面積:354.72 km²

人口:482,456人

世帯数:198,936世帯

(2013年3月末現在)

倉敷市は、豊かな自然と穏やかな気候に恵まれた岡山県の中核都市のひとつです。

沿岸部では、水島臨海工業地帯や児島といった産業都市としての側面が特に顕著であり、また中心部では、倉敷美観地区に代表される観光都市としての側面も併せ持っています。

日本初の国立公園である瀬戸内海国立公園と、雄大な瀬戸大橋を眼下に望む鷺羽山は、観光の名所であると同時に四国地方との交通の要でもあります。

古くから栄えた城下町としての文化を守り、かつIT化等の新しい試みにも積極的な、発展を続ける東瀬戸圏の拠点都市です。

倉敷市役所様

システムの汎用帳票だけでは不十分。
1つの共通データから
施設別のカスタマイズ帳票を出力させるという選択肢。

様々なシステムを運用する中では、システムから出力する既存の汎用帳票以外にも、小さな帳票のニーズが多く発生します。倉敷市役所様では、システム帳票ではカバーしきれない帳票の出力に、風神レポートをご活用頂いています。

倉敷市情報政策課の安藤主任に、お話を伺いました。

急な帳票追加への対応と 使いやすいレイアウトの作成を

——— 帳票についてどのようなご要望がありましたか？

倉敷市役所では、公共施設の貸出しを管理する「施設予約管理システム」を運用しております。例えば、体育館や野球場といった運動施設であったり、市民会館・公民館等の文化施設であったりと、様々な施設の貸出し管理を行っています。

同システムからは、各施設の利用実績管理表を出力します。施設の種類によって同じ名前の帳票でも必要な情報が異なるため、どの施設でも同じ利用実績管理表で良いというわけにはいきません。各施設にマッチした物が必要です。

また、各施設で新たに報告書や統計資料等の新規帳票が必要となったりすることも頻繁にありました。これら様々なイレギュラーへの素早い対応も求められていました。

またそれとは別に、スケジュール管理では、グループウェアから出力される汎用帳票を使用すると、一部の部署では業務効率が悪くなってしまいました。そのため、「もっと使い易いレイアウトで帳票を出力して欲しい」という要望もありました。

課題は「手間無く簡単に」

——— 風神レポートはどのような点でお役に立てたでしょうか？

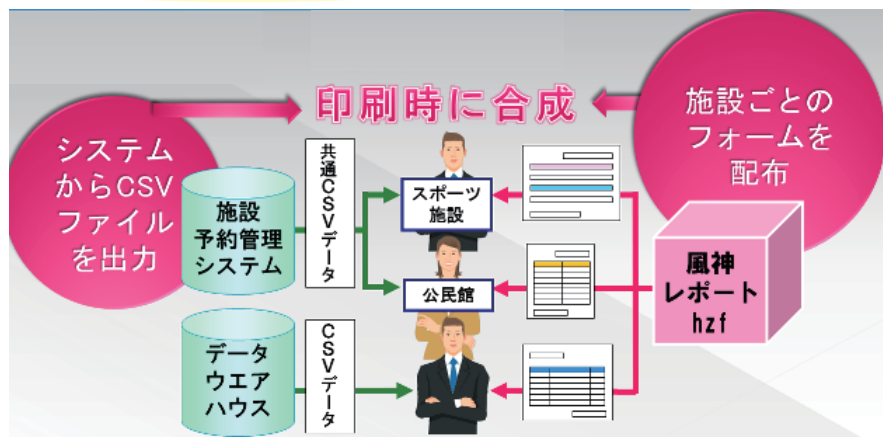
帳票に変更や追加が生じた際の解決策として、まずプログラムでの変更が考えられます。しかし、プログラムの変更は、度重なればコストが嵩んでしまいます。

システムから出力するCSVファイルを、エクセルで帳票作成する方法も考えられました。しかしエクセルの場合、ユーザー自身が帳票を作成しなければなりません。これでは、時間面でも効率面でもユーザーに負担を強いることになります。

その点、風神レポートは、CSVデータを、まるでシステム帳票であるかのように帳票化することができます。ユーザーに手間をかけることはありません。

しかも、システムに帳票を追加することと比較しても、風神レポートの帳票追加は圧倒的に簡単！まさに一石二鳥でした。

ユーザーごとに異なる帳票のニーズに対応



「各施設で急にレイアウト変更が発生したり、新たに別の帳票が必要になることが多く、素早く対応できる必要がありました。」(安藤主任より)

風神レポートのメリット

——— 風神レポートにどのようなメリットを感じて頂いているのでしょうか？

帳票をもっと簡単に作成できた

エクセルでもCSVデータは帳票加工できます。しかし、出力の度にユーザーが加工しなければならないため、面倒さや時間の浪費を回避できません。また、エクセルのマクロを駆使して帳票を作成した場合、作成者が異動になった途端にブラックBOX化してしまい、以降レイアウトの変更ができなくなってしまうという問題もあります。

その点、風神レポートは、CSVデータを帳票に加工する際に、ユーザーが手間をかける必要はありません。複雑な集計や表示列の並び替え、種別業務毎の改ページ等が自動的に処理され、帳票になります。

プログラミングも必要無いため、作成者に縛られることはありません。異動の際も安心です。

「帳票を作る」という点のみで捉えると、専用ツールである風神レポートは使い勝手が良いと言えます。

シンプルな仕組みなので簡単に帳票の追加ができた

倉敷市役所では、風神レポートのWeb帳票の方法で、追加帳票に対応しました。風神レポートのWeb帳票なら、表示用のHTMLファイルと、フォームファイル(帳票レイアウト)、CSVファイル(帳票データ)を用意すれば帳票を出力できます。システム担当者が帳票追加のためにしなければならないことは2点だけ。

- ①ユーザーにHTMLとフォームファイルを配布し
- ②指定場所にCSVファイルを出力するようユーザーへ指示する

たったこれだけで済みました。時間も手間もかからないので役立っています。

Web帳票はクライアントライセンスフリー

市役所の業務は、対象となるユーザーが多いため、クライアントライセンスの有無は導入を左右します。風神レポートのWeb帳票は、クライアントライセンスがフリーなので、コストを気にせず帳票を追加することができました。

導入の課題

- ▶ 同じ名前の帳票でも施設によって項目が異なる
- ▶ 帳票の追加やレイアウトの変更が多い
- ▶ ユーザーに負担をかけない仕組みにしたい

導入のポイント

- ▶ システムのCSVデータから要望通りの帳票を作成できる
- ▶ ノンプログラミングで作成できる
- ▶ ユーザーが手間をかけず必要な帳票を出力できる

導入の効果

- ▶ システムの改造が不要だった
- ▶ 帳票の追加・変更が圧倒的に早くなった
- ▶ システムのブラックBOX化を回避できた
- ▶ コストを気にせず必要に応じて帳票を追加できた

導入製品

風神レポート
開発キット エンタープライズ版

掲載した会社名及び製品名は、各社の商標又は登録商標です。
掲載内容は、2008年4月現在のものです。